

—黒潮と共に生きる—

漁師が生まれる大地の物語

3800万年前～ 深い海の記憶

日本列島がまだ大陸の端にあった時代、海洋プレートの沈み込みによって深い海の底にたまった砂や泥、火山島の一部が陸側に押し付けられた。こうしてできた地層を「付加体」といい、日本列島の土台となっている。土佐清水の大地の土台も、約3800万年前以降にできた付加体である。そして、プレートの沈み込みは今も続いている。



1700万年前 浅い海の記憶

日本列島が大陸の端から離れ、現在の位置まで急速に移動していた頃、大地は激しく変動していた。三崎地区に分布する地層は、活発に隆起していた山地から運ばれていた大量の砂や泥が浅い海や河川に堆積したもの。地震や海底地すべりによって変形した地層が、激動の時代を物語る。この大地の変動は、当時の生き物にも影響を与えていたと考えられる。

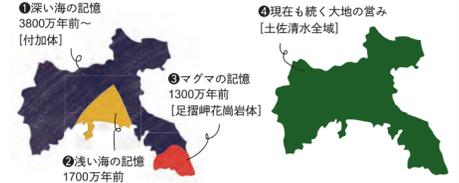


1300万年前 マグマの記憶

活発な大地の変動は、現在は火山のない太平洋側でマグマの活動を引き起こした。約1500万年前から始まったこのマグマの活動は大地を盛り上げ、太平洋に向かって突き出す岬のもととなる地形をつくったといわれている。足摺岬の花崗岩は、マグマ活動も終わる1300万年前のマグマが地下深くで冷えて固まったもの。その後も続く大地の隆起によって、現在は地表に顔を出している。



土佐清水の大地は、できた時代によって、主に次の4つの時代に分けられる。それぞれの時代を一体的に表した左の絵から、土佐清水の大地の成り立ちを一気に見てみよう。



土佐清水の大地、ココがすごい！

日本でココだけ！ 足摺岬のラバキビ花崗岩



足摺岬で見られる「ラバキビ花崗岩」という岩石は、日本では珍しく、ここでしか見られない。高知県県の「県石」にも定められている貴重な岩石だ。ラバキビ花崗岩は、主に北欧など大陸に分布している。大陸のラバキビ花崗岩は十数億年前と、とても古い時代にできたものだが、足摺岬のものは約1300万年前と、世界一新しく、新たな発見の可能性を秘めている。

激動の時代を体感！ 高解像度の地層が残る三崎層群

電車・見残し海岸がある三崎層群は約1700万年前に激しく大地が動いていた頃に浅い海にたまった地層。当時、急速に隆起していた山地から大量の土砂が海に運ばれ、急速に土砂がたまっていったため、太古の時代の瞬間、一瞬が地層に刻まれている。たまった地層に強い力がかかり、地層が傾いていて、東側が古く、西に向かって新しくなる。そのため、海岸沿いを歩きながら、時代を追って、地層観察ができる。

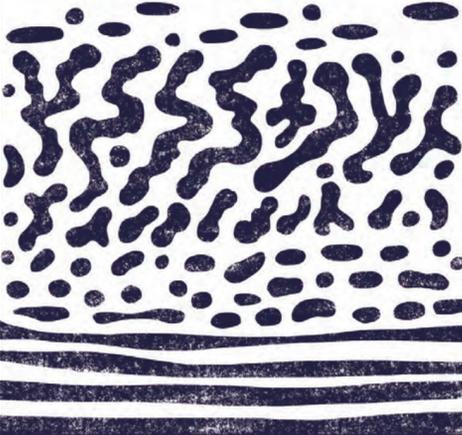


電車海岸では、写真のようなグニャグニャとした奇岩が見どころ。これらは約1700万年前、激しく大地が動いていた頃の地震や津波の痕跡だ。今は穏やかな海が広がる海岸を歩きながら、激動の時代の「生きている地球」を体感しよう。

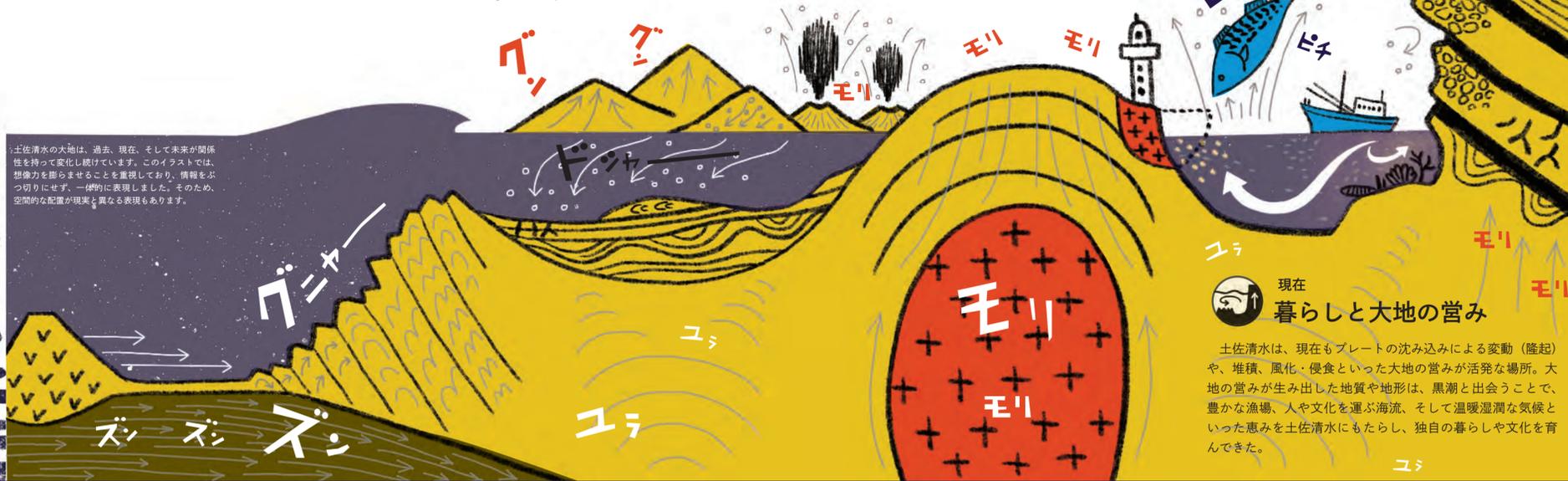
残していいのは、足跡だけ。
美しい景観、美しい地球を保つため、ゴミはきちんと持ち帰ろう。未来にゴミだらけの地層を残すことのないように。

災害の発生リスクあり！
「生きている惑星、地球」には自然災害は付き物。特に土佐清水では、南海トラフ地震や津波の危険性が高い。事前に避難経路を確認し、揺れを感じたら、すぐに高台へ逃げよう。

土佐清水ジオパーク ガイドマップ



土佐清水の大地は、過去、現在、そして未来が関係性を持って変遷し続けています。このイラストでは、想像力を膨らませることを重視しており、情報をぶつ切りにせず、一体的に表現しました。そのため、空間的な配置が現実と異なる表現もあります。



アクセス



Table with transportation routes: 高知空港 (25min), 高知駅 (1h50min), 中村駅 (1h), 清水プラザ前 (20min), 岡山駅 (3h), 清水プラザ前 (20min), 高知IC (65km), 四万十中央IC (80km).

土佐清水ジオパークと足摺宇和海国立公園の魅力を紹介！ガイドツアー、アクティビティもご案内！
開館時間 9:00-17:00
休館日 10月から6月の火曜日(祝日を除く)
年末年始(12/29-1/3)
TEL 0880-87-9500



土佐清水ジオパーク推進協議会事務局
〒787-0450 高知県土佐清水市三崎字今芝 4032-2
TEL 0880-87-9590 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

黒潮がもたらした風土

清水さば



もっちもちのぬかたえの新鮮な清水さばの刺身。漁があれば、エリア内の飲食店で食すことができる。

土佐清水沖は海底が盛り上がり、水深100mほどの海域が広がっている。その海底では、地層が切れたり曲がったりしてできた数多くの岩礁が「瀬」をつくりだしている。海底の盛り上がりや瀬に黒潮がぶつかり、栄養分が巻き上げられる土佐清水沖は、まさに魚たちのパラダイス。回遊魚であるゴマサバは、大きくなると土佐清水近海の瀬に留まるようになる。

この瀬付きのゴマサバのうち、脂のりのいい高鮮度のもを「土佐の清水さば」と認定。伝統の立て縄漁法で丁寧に釣り上げられ、生きたまま漁港へ持ち帰られる。港についた船からさばを漁港内の活魚水槽へ移す際に見られる「さばダッシュ」は漁師町清水の日常。黒潮に採られた「清水さば」は身もしまってピッチピチ。



清水港で見ることができ「さばダッシュ」

土佐清水で生まれた幕末の偉人、ジョン万次郎。土佐清水を飛び出し国際人として活躍した生涯もまた、大地と黒潮とともにあった。カツオ漁で土佐沖に出た際に嵐に遭い、蛇行していた黒潮に流され、火山島・鳥島に漂着。143日の無人島生活の末、米国の捕鯨船に救出され、渡米。その才知から米国で船乗りとして活躍した後ゴールドラッシュで千金を手にし、日本への帰国を果たす。帰国後は通訳として開国に重要な役割を果たした。



ジョン万

ジョン万次郎が生まれ育った中浜の集落。復元されたジョン万次郎の家もあるほか、特産の宗田酒を作る「節納屋」もある。



ジョン万のことを / もっと知るなら /
ジョン万次郎 資料館
開館時間 8:30-17:00
入場料 440円
定休日 なし
土佐清水市養老303
養老バス停から徒歩4分

松尾

足摺半島の切り立った断崖の上に広がる集落。花崗岩がむき出しになった磯辺や、玉石でできた石垣が連なる小路など見どころが多い。紀州印南からきた漁師が鰹漁や鰹節の製法を伝え、近世より漁業や廻船業で栄えた。当時の繁栄をしのばせる国の重要文化財「吉福家住宅」がその象徴的存在。



松尾金毘羅宮灯籠
松尾の集落を高台から見守る金毘羅宮に建てられた石灯籠。火を灯し、沖行く船へ灯台の役目を果たした。その大きさは鰹漁の盛況を物語る。電車方面で採掘された砂岩の「三崎石」が使われている。

松尾区長場前神社前

竜串湾

風化してボロボロになりやすい地層が、潮風や波に洗われて複雑な海岸地形をつくりだした。そうしてできた竜串湾は、黒潮由来の温かい海水が流れ込むことで多種多様なサンゴを育み、ウミウシをはじめとする様々な生き物たちのゆりかごになっている。

こうした海底の様子は、千尋岬の見残し海岸に渡るグラスボートで楽しむことができる。シコロサンゴの周りを泳ぐ魚の群れは一見の価値あり。また、竜串湾のランドマークでもある足摺海底館では、魚と同じ目線で海中の景色を眺めることもできる。



電車、SATOUMI前海底館前
グラスボート
電車観光船 0880-85-0037
たたくし海中観光 0880-85-1155

足摺海底館
開館 9:00-17:00

海への祈り



赤茶けた花崗岩からなる白瀝は、釣りの名所。今日も太公望たちが海岸や磯(海から顔を出した岩礁)にて、糸を垂らしている。岩場から沖合の漁場を望む竜宮神社は、海の神様として祀られており、かつて漁師の妻たちがここに集い、夫の無事と豊漁を願って宴を催していた。



清水の港にぼっかり浮かぶ鹿島には、清水の漁師から信仰を集める「鹿島神社」が鎮座する。年に2回、海に感謝を捧げ、豊漁を願う鹿島神社大祭が行われる。神輿船とそれに追従する漁船が清水湾内をパレードする様はまさに勇壮。

鹿島神社大祭
春祭り 2月の第3日曜日
秋祭り 10月の第3日曜日

旭町バス停から徒歩7分